

【発行】徳島市幸町 3-3-7
全日本建設交運一般労働組合
徳島県本部建設山林支部
電話 088-622-4347
FAX 088-625-9529

建設山林支部機関紙

やまびこ 第282号

2021/7/1

徳島労働局 振動障害特殊健康診断の実態を把握せず 「お粗末な労働行政」～被災者救済にはほど遠く

6月24日午前、振動障害、じん肺・難聴など職業性疾患の対策と予防、制度見直し、補償の充実など28項目について徳島労働局へ要請、局側は監督課長、労災補償課長、健康安全課長ら7名が対応しました。

組合は、4月30日労働保険審査会で振動障害が「棄却」となったKさんの事案について、三好監督署が提出した資料に間違いがあったことや、特殊健康診断の結果と評価を監督署・労働局は正確に把握して予防対策に反映されているのかななどを正しました。

しかし、労災課長は用意した回答を読み上げるだけで、その後のやりとりではまともな答えができず、またKさんの事案を健康安全課長は全く把握しておらず、「(県健診センターが振動障害の健康管理について長年、独自評価をしていたことは)今初めて聞いた。」



参加/森下、森岡、平野、藤峰、福島、野口県本部書記長、事務局3名

と発言。これはもう「お粗末な行政」としかいいようがありません。

組合では今後も、Kさんの「不支給決定の取消し」の実現に向けて対策をさらに重ねていきます。

(回答一部)★令和2年度振動障害療養者数は4署で116名 ★令和元年度アスベスト労災支給は1件、不支給1件。

第6回執行委員会を開催

《開催日》 6月15日 午後1時～

《場所》 西部事務所

《出席》 9名 ※欠席1名

★加入3名、死亡3名

★労災請求・認定状況

認定 難聴 11級1名

障害(振動) 11級4名

10級3名

請求 振動障害2名、難聴2名、

障害(振動)3名

じん肺遺族2名

★振動障害不支給取消を求めるたたかいの経過と今後の方向性について

★分会結集のよびかけについて 他

働くもののいのちと健康を守るセンター 第12回中四国セミナー



6月26日午後、オンラインで開催(メイン会場は愛媛)、徳島から堀金理事長ら9名が参加。講演は松丸正弁護士による「過労死問題」でした。「過労死・自死をなくすには、それ以上働いてはいけないという『聖域』をつくることだ」の言葉が印象的でした。また、働きすぎやパワハラが原因で亡くなっても、国が労災と認めず、裁判で争っている人たちの話も多く出されました。(井上、岩本が参加) 写真は、いのけん愛媛センター事務局長

長崎地裁 じん肺遺族4人全員に 遺族年金を認める判決

炭鉱や造船、自動車整備工場などで働き、石炭や石綿の粉じんを吸ってじん肺に罹患、療養していた建交労の組合員4人が「間質性肺炎」で2014年に亡くなり、其々の遺族が年金と葬祭料などを請求しましたが、長崎監督署は「不支給」と決定。その後、不服申し立てをしても2回とも認められず、長崎地裁へ裁判をおこしていました。

6月20日、裁判長は、X線写真をみた原告側の医者と国側の医者の所見をふまえ、「間質性肺炎」で亡くなったことはじん肺と因果関係があると認める判決を出しました。

死亡当時の4人の年齢は、51才、58才、77才が2人。労災請求から7年がたっています。遺族は、粘り強くたたかいを続けてきました。「間質性肺炎」がじん肺と関係がある病気だということを証明する医者に、意見書を書いてもらったり、裁判のたびに多くの方が傍聴にかけつけたりして、全国的に運動を展開してきた結果の勝利判決です。現在、監督署へ「控訴するな」とのファックスが現在多く寄せられています。徳島もとりにくんでいます。

★7月の予定★

- | | | |
|----|-----|---------------|
| 12 | 10時 | 山城集会 |
| 15 | 10時 | 貞光集会 |
| 16 | 13時 | 徳島集会 |
| 17 | 10時 | 三加茂集会 |
| 20 | 13時 | 西部診療所定期協議会 |
| 21 | 10時 | 全国トンネルじん肺根絶総会 |
| 22 | 10時 | 海部集会 |
| 26 | 13時 | 四国労災部会役員会 |
| | 15時 | 健生病院定期協議会 |
| 28 | 10時 | 美馬集会 |

22、23日 西部事務所はお休み

6月の報告

- | | |
|----|-------------------|
| 14 | 四国労災部会役員会(井上、山田) |
| 15 | 第2回会計監査(森下、池尻、名頃) |
| 23 | 四国労災部会役員会(井上、山田) |

フォト シリーズ 野鳥を追う

撮影*山田正行
(三好分会)

山田さんのコメントあり。
次号もかわいい野鳥です。お楽しみに。



6月の松尾川にて撮影。天気の良い日を見計らって、コロナのない山に行き、カメラの前で一日中のんびりしています。ミサゴの親は巣に魚を持ち帰り、ヒナに与えます。ヒナは羽ばたきの練習中。もうそろそろ巣立ちしたかも。
(上から)オオルリ、鷹科のミサゴ雄、ミサゴ雌とヒナ2羽、シジユウガラ。

印刷機能に限界あり。ホントはもっと色鮮やかな写真です。悪しからず。(井上)